

Green Brave

#52 Green Brave GR Supra GT



Round.8

GT MOTEGI 300km RACE GRAND FINAL

2025 年 11 月 1 日 (土) ~ 2 日 (日) モビリティリゾートもてぎ (栃木県茂木町)

■ トップ争いを繰り広げるも悔しい 5 位フィニッシュ ■

第 8 戦 (最終戦) はサクセスウェイトなしのノーハンデ戦。エンジンの出力制限も緩和されています。土曜日 (予選日) の天候は曇。公式練習は野中選手が 15 分ほど待機してからコースイン。5 周目に 1 分 47 秒 462 のベストタイムをマークし、6 位につけます。6 周目の終わりにピットに入り、吉田選手に交代。タイヤは換えずにコースに入り、30 分ほど走行します。19 周目の終わりにピットへ戻り、再び野中選手がドライブ。リアウイングの調整を行っており、28 周目から再び吉田選手がステアリングを握ります。GT300 専有時間の直前、34 周目の終わりにはタイヤを交換し、吉田選手が走行します。ベストタイムの更新はならなかったものの、6 位で走行を終了。もてぎは GR Supra と相性の良くないコースと言われていますが、順調な仕上がりです。

ノックアウト予選 (Q1) は A、B の 2 組に分かれて行われ、

吉田選手が B 組に出場。ドライバーは吉田選手です。吉田選手は 1 分ほどピットにステイしてからコースイン。吉田選手は 3 周のウォーミングアップの後、1 分 47 秒 029 をマーク。堂々の 5 位で Q1 を突破しました。続く Q2 では野中選手が 4 周目に 1 分 46 秒 379 の好タイムをマーク。3 位に入り、2 列目グリッドを手に入れました。

日曜日 (決勝日) の天候は曇。チームはスタートドライバーに野中選手を起用。タイヤ交換を前 2 本のみとすることで作業時間を短縮し、吉田選手を予選 1 位の #61BRZ と同 2 位の #5 トヨタ 86 の前に出す作戦です。野中選手は 3 位をキープして 1 周目を終了。序盤は #61BRZ が逃げ、#5 トヨタ 86 を追う展開です。野中選手のペースは良く、#5 トヨタ 86 との差を徐々に詰めていくと、7 周目にパス。しかし、ほぼ同時に FCY (フルコースイエロー) が導入され、FCY 解除後に進路を譲ります。#61BRZ のリードが広がる中、野中選手は再び #5 トヨタ 86 に接近。12 周目にこれを抜くと、ペースを上げ、#61BRZ を追いかけます。19 周目、#5 トヨタ 86 が先頭をきってピットイン。タイヤ無交換でレースに復帰します。野中選手は #61BRZ との差を詰めており、走行を継続。26 週の終わりに #61BRZ がピットに入ったのを見てから、翌周にピットインを行います。作戦通り、前 2 本だけを交換して吉田選手がピットアウト。ノーミスでピット作業を行っており、7 位でコースに復帰します。#5 トヨタ 86 は 8 位、#61BRZ は 9 位と、吉田選手の後方を走っており、狙い通りピットイン組のトップです。

ここまではほぼ計画通りでしたが、吉田選手は新品タイヤの熱入れに苦戦。29 周目に #5 トヨタ 86 に抜かれると、32 周目にはタイヤを 4 本交換した #61BRZ に抜かれ、8 位に後退します。33 周目には #48 日産 GT-R を抜いて 7 位へ。上位陣がピットインを終えた 38 周目時点のトップ 3 は #5 トヨタ 86、2 位は #61BRZ、吉田選手となります。吉田選手と #61BRZ の差は約 4 秒で、ペースの回復した吉田選手は #61BRZ に接近。50 周目にはテールトゥノーズとなります。しかし、なかなか抜けず、後方の #666 ポルシェと #56 日産 GT-R が接近。3 位争いが過熱します。巧みなラインで順位を死守しますが、残り 2 周となった 58 周目、2 台に立て続けに抜かれてしまい、5 位でフィニッシュ。Green Brave はチームランキング 6 位 (ドライバーランキング 7 位) で 2025 年シーズンを終えました。



決勝結果 (GT300 クラス)

#52 Green Brave GR Supra GT
(吉田広樹 / 野中誠太)

決勝: 5 位 (59 周、1 時間 52 分 35 秒 910)

予選: 3 位 (Q2: 1 分 46 秒 379)

■■■ DRIVERS VOICE ■■■



吉田広樹 選手

予選後：朝の公式練習で使用したタイヤと予選で使ったタイヤが違ったので、しっかり合わせ込んで、誠太につなげるのが自分の役目でした。最低限 Q1 を突破できて良かったと思います。ウェイトを積んでいませんが、全車同じなので、他のコースと比べて特に走りやすいわけではないです。タイヤ選びと自分たちのクルマづくりを合わせ込むことができ、この位置に来ることができたので、良かったと思います。

決勝後：最低でも表彰台は守りたかったです。速さはあったのですが、自分がうまく立ち回ることができずに、こういう順位になってしまいました。本当に申し訳ないです。ピットのタイミングはGT500 やライバルの様子を見ながら、あのタイミングで良かったと思います。前輪の熱入れが結構大変で、望んでいたコンディションにならなかった分、温まるまで時間がかかりました。BRZ に対してアドバンテージがあり、早く仕掛けたかったのですが、なかなか決め手がなく、後方の集団に飲み込まれてしまいました。今シーズンは良いレースと悪いレース、いろいろありましたが、表彰台に1回しか登れていないので、チャンピオンは難しかったです。第1戦と第2戦での取りこぼしが大きかったと思います。



野中誠太 選手

予選後：朝の走り始めで同じタイヤを履いたので、同じようにタイヤを温め、アタックに入りました。BRZ が本当に速かったので、ポールポジションはあまり考えていなかったのですが、今までは7、8番手ぐらいに沈んでしまい、決勝で苦しんでいたのが、3番手をとることができ、本当に良かったと思います。前からスタートできるのでチャンスはあると思います。決勝に向けては、チャンピオンの可能性もゼロではないので、落ち着いて力を出し切りたいと思います。後半にチャンスが来ると思うので、順位を落とさないように頑張って耐えます。

決勝後：スタートはうまくいき、5号車についていく展開でした。FCY 宣言が出た微妙なタイミングで5号車を抜いてしまったので、一度譲ってから、再度抜くことにしました。GT500 が来たタイミングで、5号車が失速したので、上手く順位を上げられました。ペースはすごく良く、BRZ との差をどんどん詰めることができたので、その部分では非常に満足しています。序盤の2戦でポイントを逃してしまい、ランキング的に苦しい状況を作ってしまったが、それ以降は安定した力がありました。セパンや今回のもてぎでは優勝を狙えるスピードがあったので、良いところをつなげていきたいと思います。

GT300 決勝結果

順位	車番	車名 (車両)	周回数
1位	5	マツハ車検 エアバスター MC86 マツハ号 (トヨタ 86 MC)	59 周
2位	61	SUBARU BRZ R&D SPORT (スバル BRZ GT300)	59 周
3位	666	seven×seven PORSCHE GT3R (ポルシェ 911 GT3R)	59 周
4位	56	リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R (日産 GT-R NISMO GT3)	59 周
5位	52	Green Brave GR Supra GT (トヨタ GR Supra)	59 周
6位	65	LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)	59 周

天候：曇 路面：ドライ トップ7まで (出走 27 台)

GT300 チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	65	K2 R&D LEON RACING	106
2位	56	KONDO RACING	106
3位	4	GOODSMILE RACING & Team UKYO	104.5
4位	7	CARGUY MKS RACING	101.5
5位	666	seven×seven Racing	98.5
6位	52	埼玉 Green Brave	89.5

トップ6まで

■■■■■ PARTNERS ■■■■■



Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社



株式会社アルシェ



株式会社 FM NACK5



小倉クラッチ株式会社



株式会社カーグラス・JP



株式会社カロッツェリアジャパン



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社セーフティライフ



大和ラヂエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



ティーズ・ワークス



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社



BP カストロール株式会社



株式会社プロモーション



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社 REIZ

今シーズンも1年間
応援ありがとうございました